

国の取組内容の紹介

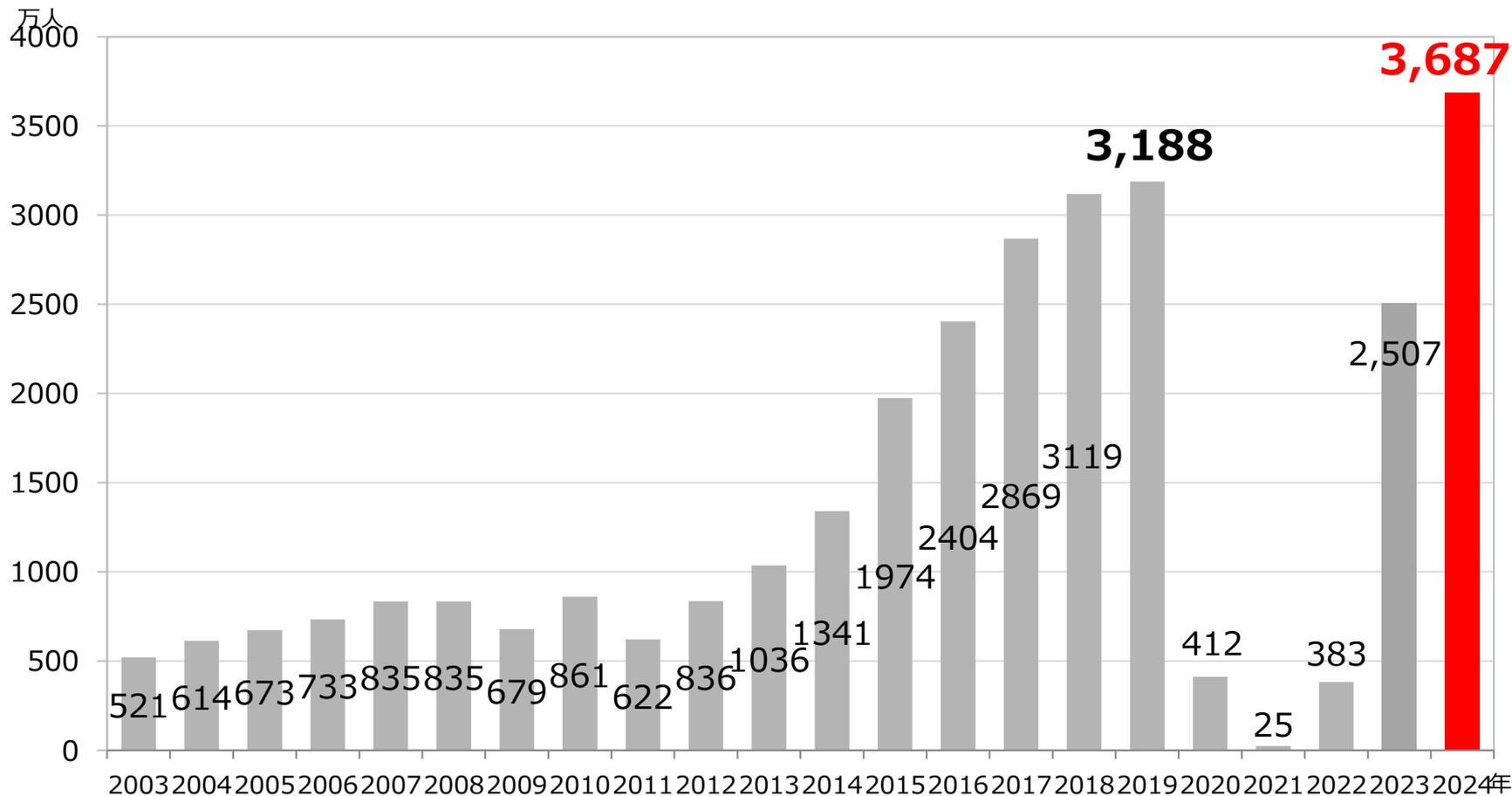
「ベジタリアン・ヴィーガン/ムスリム旅行者おもてなしガイド」、
観光庁予算事業の紹介

観光庁 参事官（外客受入担当） 付

令和7年2月27日

訪日外国人旅行者数の推移

- 2024年の年間の訪日外国人旅行者数は約**3,700万人**となり、**コロナ前と比べ約500万人上回り、年間の合計で過去最高となった**



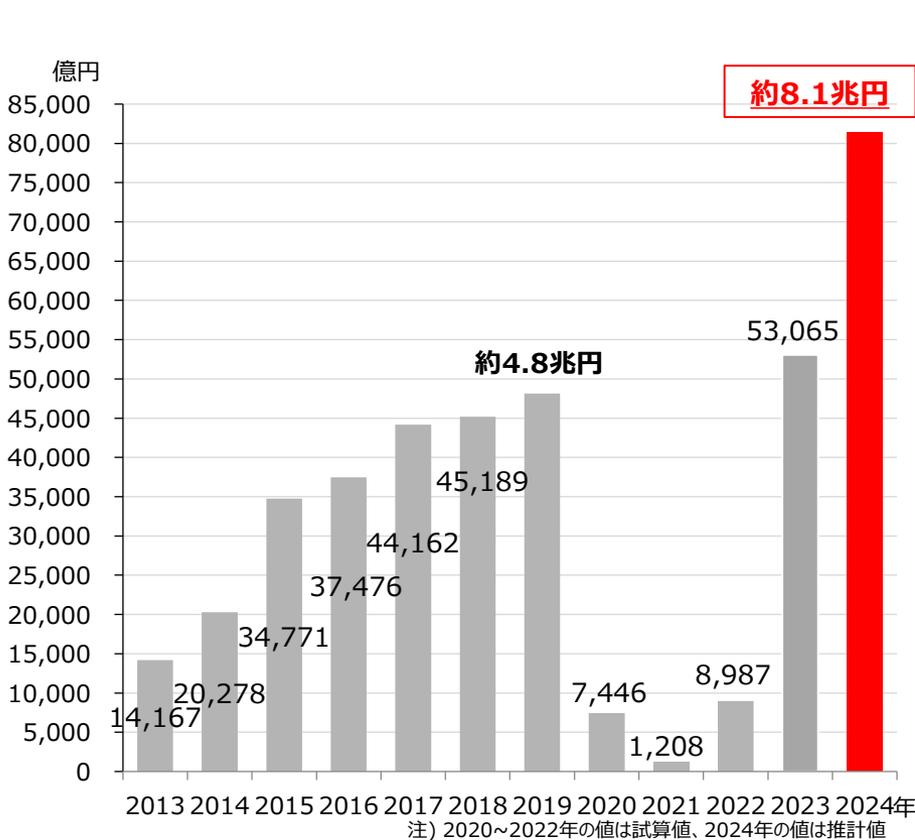
注) 2023年以前の値は確定値、2024年の値は推計値

出典: 日本政府観光局(JNTO)

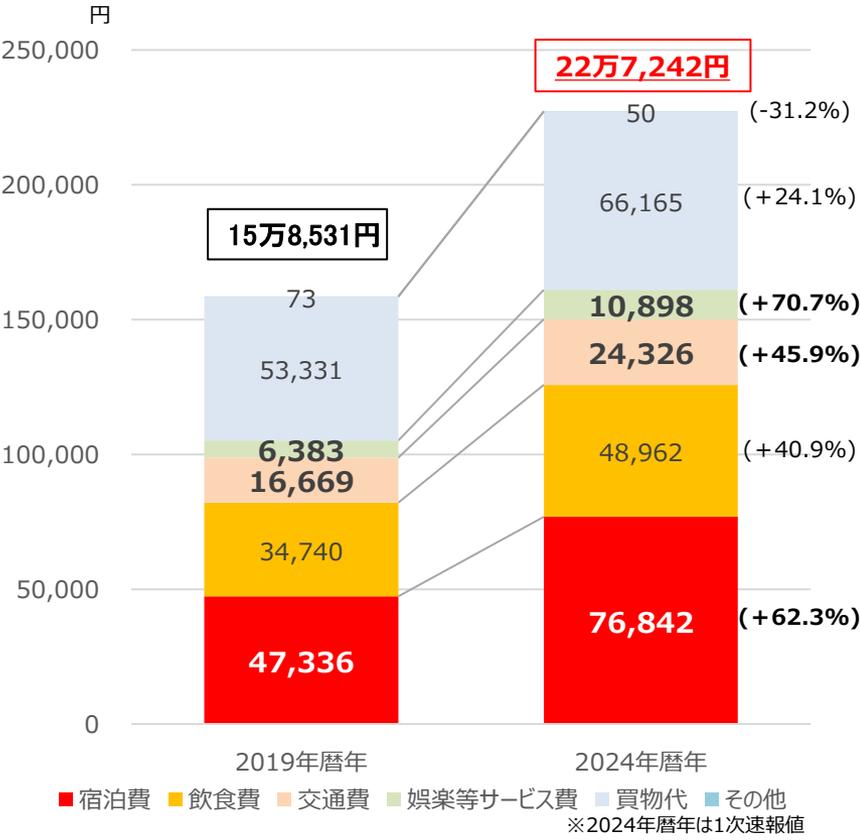
訪日外国人旅行消費額の推移

- 2024年の訪日外国人消費額は、**8.1兆円と過去最高**（2019年比69%増）
- 訪日外国人（一般客）**一人当たりの旅行支出は、22万7千円**（2019年比43%増）
- 費目別にみると、**娯楽等サービス費、宿泊費、交通費**が上昇

訪日外国人旅行者による消費額の推移



費目別 1 人 1 回当たり旅行消費単価

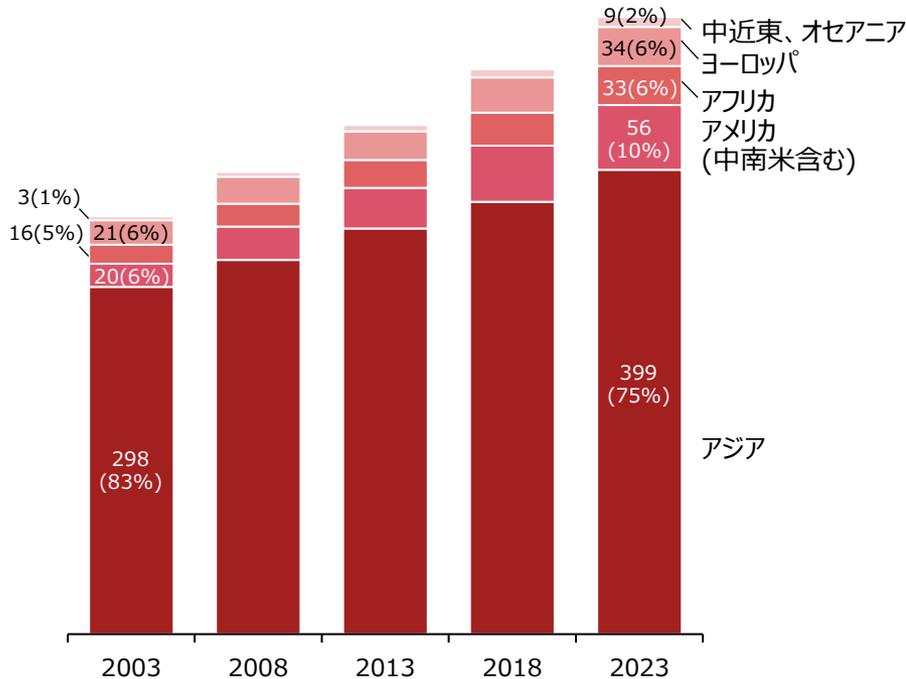


ベジタリアン等旅行者の傾向

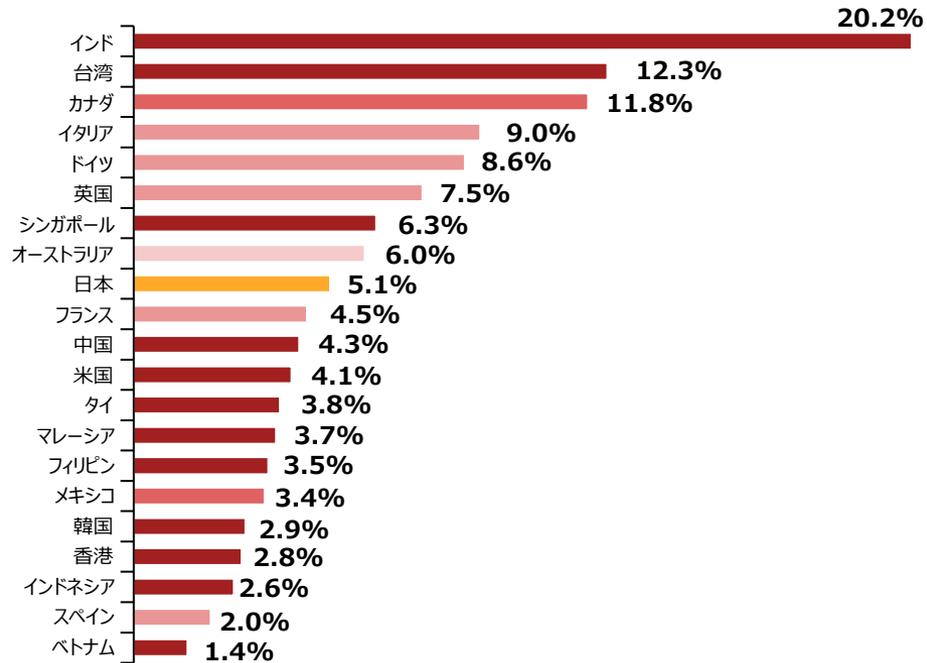
- ベジタリアン等の世界人口は、毎年増加傾向にあり、**2023年には約5.3億人**に達した
- 訪日旅行者数の上位20の国・地域について、国・地域別にベジタリアン等の人口比率を見ると、**インドが1位で突出して高く、2位が台湾、3位以下は欧米豪諸国が多くなっている**

ベジタリアン等人口の推移

(主要100ヶ国・地域¹⁾、単位：百万人)



訪日旅行者数上位20国・地域におけるベジタリアン等比率 (2023年)



※本統計のベジタリアン等の定義：ベジタリアン等は肉類、家禽類及び魚介類を食べない、あるいは基本的には食べない人で、人によっては卵やチーズなど動物由来のものも摂取せず、基本的に野菜、フルーツ、ナッツや穀物などをメインの食事とします

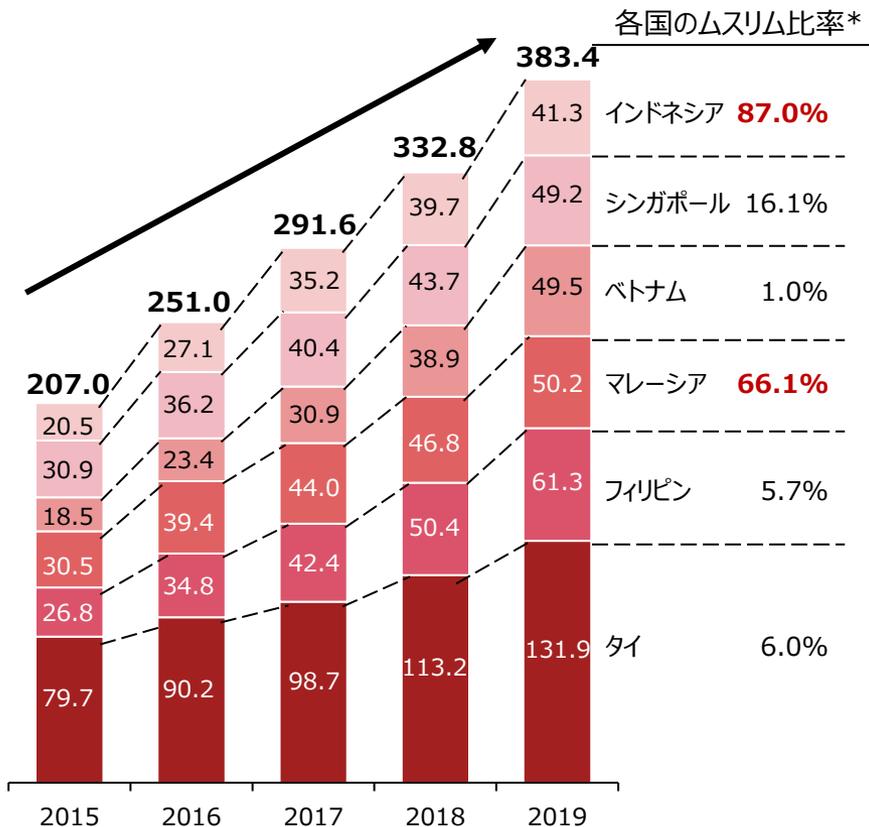
1)Euromonitorにベジタリアン等人口に関するデータが存在する100ヶ国・地域であり世界人口の約90%をカバー
出所：Euromonitor

ムスリム等旅行者の傾向

○ 東南アジアや中東からの訪日旅行者が増加しており、中でもマレーシアとインドネシアに関してはムスリム比率が非常に高く、**全般的にムスリム比率が高い中東諸国からの訪日は今後も伸長が期待**

東南アジアの訪日外客数推移¹⁾(万人)とムスリム比率*

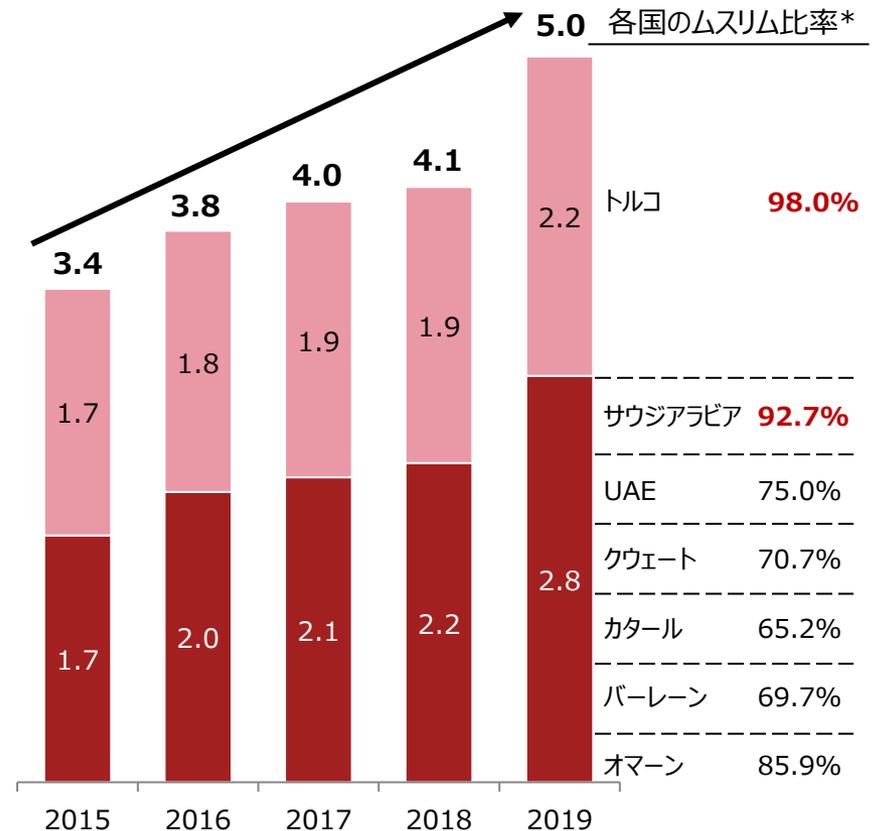
※コロナウイルスの影響を加味し2019年までの数値の推移を表示



1)コロナウイルスの影響を加味し2019年までの数値により増加度合いを示した
*2020年の数値を利用
出所：JNTO、Pew Research Center

中東の訪日外客数推移¹⁾(万人)とムスリム比率*

※コロナウイルスの影響を加味し2019年までの数値の推移を表示



1)コロナウイルスの影響を加味し2019年までの数値により増加度合いを示した
*2020年の数値を利用
出所：JNTO、Pew Research Center

ベジタリアン・ヴィーガン／ムスリム 旅行者おもてなしガイド (概要)

- インバウンドが堅調に回復する中、ベジタリアン・ヴィーガンやムスリム旅行者等、**多様な宗教的、文化的慣習を有する訪日外国人旅行者がストレスなく安心して観光を満喫できるような環境整備が必要**。
- 観光庁は令和6年4月、**飲食等の現場において「すぐに取り組みそう」と**感じられ、かつ具体的に**「まず何をすればいいのか」**がわかるよう、ベジタリアン・ヴィーガン向けとムスリム向けの内容の共通部分を中心に**「ガイド」を取りまとめ**。(併せて、より詳細なデータや事例等について**「資料編」**として取りまとめ。)

本体

1. 本ガイドの背景と目的

- ✓ 観光庁がこれまで策定・増補してきたガイドブック等の紹介。本ガイド内の表記に関する説明。

2. 多様な食習慣を有する方々への対応早わかりガイド

- ✓ 多様な食習慣を有する方々への対応は、**共通性に着目し、それぞれの事業者の方に合った取り組み方で進めることがポイント**
- ✓ ベジタリアン・ヴィーガン・ムスリムの方々の**旅行時の行動特性**（常に厳格に基準・決まりを守っているわけではなく、**特に海外旅行時は食事制限の基準を緩める方も一定数いる**）
- ✓ 個人毎に規範の順守度合が違いため、**店頭などで対応内容をポリシーとして明示することが重要**

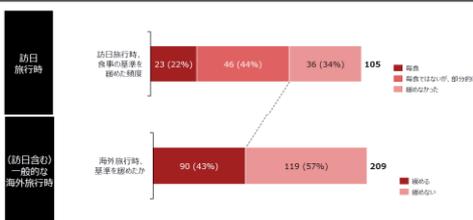


3. 基礎知識と対応の実践 (ベジタリアン・ヴィーガン／ムスリム)

- ✓ ベジタリアン・ヴィーガンについて、基礎知識（背景・類型・食事制限）、対応の実践（**最低限の約束事項（肉類、出汁、原材料）、表示方法（材料に関する記述・口頭での対応内容の表示など）**、情報発信・媒体、代替食材等）、よくある質問と回答などを掲載。
- ✓ ムスリムについて、基礎知識（イスラム・ムスリムとは、ハラールとハラム・**生活習慣、食／礼拝等に関するイスラムの教えと生活習慣**）、対応の実践（基本的な考え方、**ニーズに合った食の対応・対応チェックシート、礼拝対応**、情報の集約・発信）、よくある質問と回答などを掲載。

ベジタリアン・ヴィーガン／ムスリムの方々に関する**基礎データ、対応事例・文例・用語集**を掲載

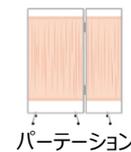
(例1：基礎データ) 訪日旅行時・海外旅行時に食事の基準を緩めたか／緩めた頻度



- **海外旅行時に食事の基準を緩めるベジタリアン・ヴィーガンの方は約4割**
- **特に訪日時には6割強が食事制限を緩めている**

(例2：対応事例) ムスリム対応方法

- 常設の礼拝室の設置が困難な施設でも、**対応可能な範囲で礼拝スペースを設けた上で、適切にご案内できることが重要**。



資料編

事業目的・背景・課題

- インバウンドの拡大に伴い、ベジタリアン・ヴィーガン等の多様な食習慣や文化的慣習を持つ訪日外国人旅行者も増加する傾向。観光消費額拡大に向けて、こうした多様な訪日外国人旅行者に対して必要な食の提供機会や環境整備等を推進する必要がある。
- 受入環境の整備やニーズに合わせた高付加価値なサービスの提供等による地域一体の取組を促進するため、地域の観光関係者の連携による優良モデルを構築する。

事業内容

○モデル実証【調査事業】

- 多様な食習慣・文化的慣習を持つ訪日外国人旅行者の誘客促進・観光消費拡大に向けて、地方自治体、DMO、飲食業、宿泊業、旅行業等の観光関係者が連携して旅行環境整備に取り組む**モデル実証**を行う。
 - ・ 想定する多様な訪日外国人旅行者：ベジタリアン・ヴィーガン、ムスリム等
 - ・ 安心して旅行できる受入環境整備に加え、地域における滞在時間の増加や消費拡大に資するコンテンツ造成や情報発信等を併せて実施
(例：日本食らしさを備えたヴィーガン対応メニューの開発、礼拝所の整備 等)

- また、多様な訪日外国人旅行者の特性に関する基本的な理解の促進や他地域における先進事例等を横展開するべく、**自治体・事業者向けセミナーを開催**する。

事業スキーム

- ・ 事業形態：直轄事業 ・ 請負先：民間事業者
- ・ 事業期間：令和6年度～

お問い合わせ先：観光庁 参事官(外客受入) 電話：03-5253-8972

事業イメージ

モデル実証プロセス

- **地域の観光関係者が**多様な食習慣・文化的慣習等に対応した**観光計画(事業実施計画)**を策定
(地域の観光関係者)
地方自治体、DMO、飲食事業者、宿泊事業者、旅行業者、商店街・土産物屋 等

➡ 観光庁において計画を採択、**専門家による伴走支援等を通じた実証事業**を実施

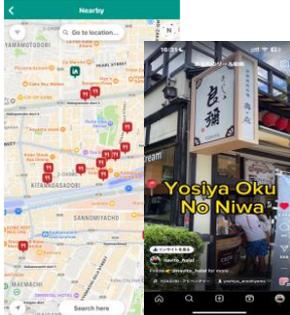
取組内容例



ヴィーガン対応メニューの開発



簡易的な礼拝所の整備



Map整備やSNS等を活用したPR